

議会だより

第2回 揖斐川町議会 定例会

平成27年第2回揖斐川町議会定例会が、3月5日から13日までの9日間の会期で開催されました。議会初日の正・副議長選挙では、議長に林幹夫議員、副議長に小倉昌弘議員が選出され、また各委員会の新しい構成も決定されました。続いて町長から、平成27年度予算案をはじめとする68議案の提案説明が行われ、このうち7議案が可決・同意され、残る61議案の審査は各委員会に付託されました。

これを受け、9日には議員全員で構成する予算特別委員会、10日には総務文教、民生建設の各常任委員会が開かれ、付託された議案の審査が行われました。

12日の定例会2日目には、4名の議員が一般質問を行いました。

最終日の13日には、付託された議案の審査結果が各委員長から報告され、質疑・討論・採決が行われました。また、この日町長から追加提出された監査委員の選任案ほか4議案、及び議員提出の議会改革検討特別委員会設置に関する決議案も審議され、すべての議案が原案どおり可決・同意されました。

本定例会に提出された案件の主な内容、また一般質問及び答弁の要旨は後記のとおりです。

町民の皆様には、日頃から議会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。このたび、議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その職責の重さを痛感する次第でございます。これまで皆様からいただきました貴重なご意見やご指導を糧として、より豊かで住みよいまちづくりを目指し、負託と信頼にお応えできるよう全力を尽くす所存でございます。今後とも、町民の皆様のお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

ひょうごけん



小倉昌弘副議長



林幹夫議長

委員会構成	議会運営委員会	常任委員会			特別委員会			
		総務文教	民生建設	下水道	土地施設	議会改革検討	予算・決算	
委員長	坪井 重憲	大西 政美	杉本 一義	成瀬 雅弘	高橋 元之	大久保為芳	成瀬 雅弘	
副委員長	錦野 悦朗	大西 恵子	村瀬 三郎	小倉 昌弘	成瀬 雅弘	村瀬 三郎	丸山 周治	
委員	清水 政則	清水 政則	所 登喜雄	林 幹夫	議員全員	議員全員	議員全員	
	所 登喜雄	林 幹夫	坪井 重憲	錦野 悦朗				
	杉本 一義	錦野 悦朗	小倉 昌弘	坪井 重憲				
	大西 政美	高橋 元之	大久保為芳	高橋 元之				
		森 泰朗	宇佐美直道					
	成瀬 雅弘	丸山 周治						

条例案件

● 揖斐川町内部組織設置条例の一部を改正する条例

現在の総務部を分割して新たに企画部を設置するため、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町行政手続条例の一部を改正する条例

行政手続法の一部改正に伴い、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町の公益的法人等への職員
の派遣等に関する条例等の一部を
改正する条例

寒冷地手当を廃止するよう、関係条例について所要の改正が行われました。

● 揖斐川町定年前に退職する意思を
有する職員の募集等に関する条例
の一部を改正する条例

職員の退職手当に関する条例の一部改正により、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町教育長の職務に専念する
義務の特例に関する条例の制定

教育長と教育委員長を一本化した新「教育長」が設置されるため、本条例が制定されました。

● 揖斐川町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例等
の一部を改正する条例

教育長と教育委員長を一本化した新「教育長」が設置されるため、

関係条例について所要の改正が行われました。

● 揖斐川町職員の給与に関する条例
の一部を改正する条例

人事院勧告により国家公務員の給与の改定が行われることに伴い、職員の給与の棒給表の改定、及び各種手当の引き上げ等、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町職員の特殊勤務手当に
関する条例を廃止する条例

本条例の適用を受ける職員が不在となるため、本条例が廃止されました。

● 揖斐川町特別会計条例及び揖斐川
町基金条例の一部を改正する条例

平成27年度から、谷汲中央診療所が指定管理により運営されることに伴い、関係条例について所要の改正が行われました。

● 揖斐川町税条例の一部を改正する
条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正のうち、軽自動車税の税率改正において、「専ら雪上を走るもの」が追加されたため、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町手数料徴収条例の一部を
改正する条例

平成27年4月から、土地番図等を住民に公開するにあたり、写しの交付に係る手数料を定めるため、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町博物館の設置及び管理に

関する条例の一部を改正する条例

春日民俗資料館が廃止されるため、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町立保育所の設置及び管理
に関する条例及び揖斐川町留守家
庭児童教室の設置等に関する条例
の一部を改正する条例

「子ども・子育て支援新制度」が実施されることに伴い、関係条例について所要の改正が行われました。

● 揖斐川町保育の実施に関する条例
を廃止する条例

「子ども・子育て支援新制度」が実施されることに伴い、本条例が廃止されました。

● 揖斐川町すこやかベビー祝金条例
及び揖斐川町長寿者褒賞条例の一
部を改正する条例

町内の消費拡大により地域の活性化を図るため、祝金の全部又は一部を「揖斐川町地域振興券」で交付することに伴い、関係条例について所要の改正が行われました。

● 揖斐川町地域包括支援センターの
運営及び職員の基準を定める条例
の制定

介護保険法の一部改正に伴い、本条例が制定されました。

● 揖斐川町墓地の設置及び管理に
関する条例の一部を改正する条例

三輪地内に三輪霊苑を設置するこ

とに伴い、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町森呼吸の設置及び管理に
関する条例を廃止する条例

森呼吸を廃止するため、本条例が廃止されました。

● 揖斐川町下水道条例の一部を改正
する条例

下水道法施行令に規定する排水基準の一部が引き下げられたことに伴い、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町企業職員の給与の種類及
び基準に関する条例の一部を改正
する条例

寒冷地手当及び特殊勤務手当の支給を廃止するため、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町消防委員会条例の一部を
改正する条例

消防団員の確保、装備の改善等により、消防団の一層の充実と地域防災力の強化を図るため、所要の改正が行われました。

● 揖斐川町消防団員等公務災害補償
条例の一部を改正する条例

児童扶養手当法の改正に伴い、所要の改正が行われました。

予算案件

◎平成27年度の一般会計及び20特別会計と1企業会計の予算が可決されました。

(詳細は4月号をご覧ください。)

● 一般会計予算額

148億8000万円

● 特別会計予算額(20会計)

69億1010万円

● 上水道事業会計予算額

7億7211万7000円

● 平成26年度揖斐川町一般会計補正予算(第8号)

補正額

3億1516万9000円増額

補正後予算額

150億6009万3000円

● 平成26年度揖斐川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額

5462万1000円増額

補正後予算額

27億6459万1000円

● 平成26年度揖斐川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額

1466万4000円減額

補正後予算額

2億9463万6000円

● 平成26年度揖斐川町国民健康保険直診勘定特別会計補正予算(第2号)

補正額

48万円増額

補正後予算額

1億1534万8000円

● 平成26年度揖斐川町谷汲中央診療所特別会計補正予算(第3号)

補正額

123万2000円減額

補正後予算額

8236万9000円

● 平成26年度揖斐川町大和簡易水道特別会計補正予算(第2号)

財源の振替による補正のため予算額の増減はありません。

● 平成26年度揖斐川町脛永簡易水道特別会計補正予算(第1号)

補正額

286万9000円増額

補正後予算額

1946万9000円

● 平成26年度揖斐川町市場簡易水道特別会計補正予算(第1号)

財源の振替による補正のため予算額の増減はありません。

● 平成26年度揖斐川町谷汲簡易水道特別会計補正予算(第1号)

補正額

150万円減額

補正後予算額

9130万円

● 平成26年度揖斐川町北部簡易水道特別会計補正予算(第2号)

補正額

617万7000円減額

補正後予算額

1億8094万円

● 平成26年度揖斐川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

補正額

1650万円減額

補正後予算額

15億3097万9000円

● 平成26年度揖斐川町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

財源の振替による補正のため予算額の増減はありません。

● 平成26年度揖斐川町個別排水事業特別会計補正予算(第2号)

補正額 5212万円減額

補正後予算額

1億5035万1000円

● 平成26年度揖斐川町宮住宅事業特別会計補正予算(第3号)

補正額

1324万9000円増額

補正後予算額

1億406万円

● 平成26年度揖斐川町杉原地域土地取得等特別会計補正予算(第1号)

補正額

118万円減額

補正後予算額

162万円

● 平成26年度揖斐川町徳山ダム上流域公有地化特別会計補正予算(第1号)

補正額

4億292万円減額

補正後予算額

1億548万円

人事案件

各種委員、議員の選任、任命並びに選挙が行われました。

● 揖斐川町固定資産評価審査委員会委員の選任

次の方を選任することに同意されました。

● 揖斐川町教育委員会委員の任命

橋本勝範さん(東横山) 次の方を任命することに同意されました。

● 北方財産区管理委員の選任

小林直樹さん(岐阜市長良) 次の方を選任することに同意されました。

・井川幸夫さん ・高橋隆博さん

・吉田千利さん ・折戸岩男さん

・折戸三夫さん ・細野廣雄さん

・野田 勇さん

● 横蔵財産区管理委員の選任

次の方を選任することに同意されました。

杉山幸広さん

● 消防委員会委員の選任

次の議員が選任されました。

・高橋元之議員 ・森 泰朗議員

・村瀬三郎議員 ・宇佐美直道議員

・大西政美議員 ・丸山周治議員

● 揖斐川水防事務組合議会議員の選挙

揖斐川町から選出する議員に次の方が当選されました。

・宗宮 徹さん(房島)

・松原正明さん(下岡島)

・高橋典男さん(脛永)

・宗宮孝生さん(房島)

● 揖斐川町監査委員の選任

次の議員を選任することに同意されました。

宇佐美直道議員

● 揖斐川町教育委員会教育長の任命

次の方を任命することに同意されました。

● 揖斐郡養基小学校、養基保育所組合議会議員の補欠選挙

揖斐川町から選出する議員に次の方が当選されました。 大西政美議員

その他案件

揖斐川町合併まちづくり計画の変更

合併市町村に係る地方債の特例期間の延長が認められたことを受け、計画期間の延長と事業の見直しを行いました。

揖斐川町いび茶販売施設の指定管理者の指定

指定管理者 合同会社いび茶の里
指定の期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日

町道の路線の認定

7路線が認定されました。

揖斐郡養基小学校、養基保育所組合規約の変更

児童福祉法の改正に伴い、所要の改正が行われました。

工事請負契約の変更

揖斐川右岸農集事業H26―1処理施設建築工事
変更前の契約金額 8532万円

変更後の契約金額 8663万7600円

工事請負契約の変更

揖斐川右岸農集事業H26―2処理施設機械・電気設備工事
変更前の契約金額 1億8522万円

変更後の契約金額 1億8666万7200円

工事請負契約の変更

揖斐川右岸農集事業H26―3中継

ポンプ工事

変更前の契約金額 9720万円
変更後の契約金額 9337万2480円

議員発議

議会改革検討特別委員会設置に関する決議

議員定数や選挙区制度など議会改革について審査検討を行うため、議員全員で組織する「議会改革検討特別委員会」の設置に関する決議が、原案のとおり可決されました。

議会活動報告

2月

25日 第2回議会運営委員会
25日 第1回全員協議会

3月

5日 第2回町議会定例会(初日)
5日 第2回全員協議会
9日 予算特別委員会
10日 第1回総務文教常任委員会
10日 第1回民生建設常任委員会
12日 第2回定例会(2日目) 一般質問

13日 第2回定例会(最終日)
13日 第3回全員協議会
13日 第3回議会運営委員会
26日 第1回土地施設特別委員会

ここが聞きたい一般質問

議員4名が町政を問う

本定例会の一般質問の要旨をお知らせします。(紙面の都合上、質問および答弁は要約しています。)

森 泰朗議員

町指定の避難所は安全安心な場所へ

町長の年頭あいさつの中で、町民一人一人が自らの命を守るという自助や共助によって、安全・安心な町づくりを進めているとあります。大規模な訓練が毎年実施されておりますが、地震や土砂崩れなどの自然災害は人類の力では防ぐことができません。そこで、次に起こり得る災害を想定した防災対策が必要であり、少なくとも町が指定する避難所は安全安心な場所を提供していただきたいと思っております。目前に迫るトラフ地震に備えて、今一度安全対策が万全であるかどうかの点検をお願いします。

また、私が以前提案しましたが、三重県では建設業協会と連携した災害復旧を行っているという件は参考になりましたか。

町長

町では「地域防災計画」の中で避難所を指定していますが、現在、国

の災害対策基本法の一部改正に基づいて、計画の見直し作業を行っています。この法改正では、避難勧告等が発令された場合の「指定緊急避難場所」と、新たに長期的避難ができる「指定避難所」の指定が求められています。

災害によっては避難所として適さない施設もあり、他の避難所へ移動するといった対応も必要であることから、より早く、より多くの情報を提供したいと考えています。

また、当町の防災訓練には毎年揖斐建設業協会にも参加していただくとともに、実際に災害が発生した場合は連携して復旧等にあたることとしており、大雨警報等の発令時には協会も自主的にパトロールするなど、町と連携して対応する体制ができています。

森 泰朗議員

町所有の遊休地の売却の検討を

揖斐川町には町有の遊休地が多く点在しています。中には雑草が繁茂し、衛生面からも良くないと思われ、維持管理には予算も必要です。

町民の中には、これら遊休地を購入したいという希望者もあると聞いています。町としてはこういう土地を放置せずに、売却できるよう購入希望者に広く周知して、利用価値を高めてはと思います。町長の考え

を伺います。

町長

現在、未利用の町有地いわゆる普通財産の土地については、景観や環境面を考慮して除草等維持管理を行っていると思います。普通財産の処分については、町の規則で原則一般競争入札によると規定しています。

当面利用計画のない町有地について現在調査中ですが、土地の有効利用を図るため、町民の方の購入希望も伺いながら、売り払いのできる土地は積極的に処分手続きを進めたいと考えています。

坪井重憲議員

揖斐川町から輩出した人物の副読本の制作について

NHKの朝ドラ「マッサン」の主人公のモデルとなったニッカウISKキーの創業者である竹鶴政孝さんは、出身地の広島を離れ大阪で醸造学を学んだそうですが、その時の先生が、揖斐川町出身の工学博士で大阪高等工業学校(現大阪大学)教授の坪井仙太郎氏であったと、中日新聞に掲載されました。

このように、揖斐川町が輩出した多くの偉人を調査・研究して1冊の本にまとめ、小中学校の社会科の副読本として活用してはと考えますが、町長及び教育長の考え方をお尋

ねします。

町長

坪井仙太郎氏については、揖斐川町史の中にも掲載されており、工学博士として新日本酒や芋焼酎などを発明されたことなどが記載されています。

揖斐川町から輩出した人物としては、平成21年に町が発行した郷土読本「揖斐川町ゆかりの人物」があり、200名以上の人物が紹介されており、その中に坪井仙太郎氏も含まれています。

教育長

揖斐川町では、各学校でふるさと学習に力を入れており、小学校第3・第4学年では地域の地理的環境や人々の生活の変化、地域の発展に尽くした先人の働きについて理解し、地域社会に対する誇りと愛情を育てるよう努めています。

3・4年生の社会科の副読本としては、平成22年に教育委員会が発行した「いびがわ」を全児童に配付して学習を進めています。この本の中では、町のために飛鳥川用水をつくりあげた先人達の願いや苦勞が感動的に紹介されています。

また、揖斐川町から輩出した人物については、先ほど町長が紹介した「揖斐川町ゆかりの人物」を用いて

学習しています。子ども達が故郷の偉人について学びあこがれを持つことは、郷土を愛する心を育むとともに、自分自身の生き方を考え、よりよい生き方を求めていくことにつながる価値ある学習であります。

今後、ふるさとについての副読本を改訂する際には、故郷の偉人についての内容をより充実させるよう努めたいと思います。

小倉昌弘議員

原発について

これまで何回も質問してきましたが、原発への不安は増えるばかりです。福井県のもんじゅでは監視カメラの3分の1が故障していたり、未点検機器の数もさらに増えて6900点以上にのぼることがわかりました。

福島第一原発では排水路に高濃度の放射性物質を含む水が漏れ続けているのを放置したり、原子力規制委員会も報告を受けていながら有効な策を行うこともせず、住民にも知らされていませんでした。

こんな危険な原発は廃止し、再稼動も中止するしかないと思います。町長はどのようなにお考えですか。また反対できないのなら、それは何故ですか。

町長

町政を預かる私としては、原発の是非を論ずるより、まずは「国や県、関係機関への安全対策に関する要望活動」、「万一の被災時に必要な資機材の確保」、「住民参加型の避難訓練の実施」など、できることを最大限に進め、いかなる場合でも住民の皆さんの安全が確保できるよう、さまざまな対策を講じているところで

す。

また、新基準に基づく審査結果などの安全性やエネルギー政策上の位置づけなどを国が責任を持って住民にわかりやすく説明することや、同意を得る自治体の定義を明確にするなどのルール化を、国に強く求めていきたいと考えています。

岐阜県防災会議の原子力専門部会や西濃地域首長懇談会などの機会を捉えては、揖斐川町としての考えをお話していますが、今後も住民の皆さんの安全確保に努めていきたいと考えています。

小倉昌弘議員

給食費について

平成27年度から小中学校の給食費が値上げされることが保護者に通知されました。議会に対して事前に報告がないということは、それほど重要なことではないということなのかお伺いします。

また、新事業として第3子以降給

食費支援事業の予算が計上されています。第1子・第2子は値上げで第3子以降は無料にするというのは、保護者も納得できないのではないのでしょうか。

最近では子育て世代の応援として給食費の無料化を求める自治体もありますが、人口の減少、特に子どもが減って学校の廃校が続く揖斐川町では、もっと子育てを応援するべきではないでしょうか。町長、教育長にお伺いします。

町長

学校給食法では、施設及び設備に要する経費や従事する職員の人件費は町が負担し、それ以外の経費、つまり給食の材料費は保護者が負担することとされています。

今回の改訂については給食運営委員会によって決定されたものであり、保護者負担分の材料費については、保護者の代表を交えて行われる同委員会の決定に委ねるべきと考えています。

また、第3子以降給食費支援事業は、人口減対策の一環として、町が行う子育てを応援する大切な事業の一つであり、給食費の値上げとは別のものであります。

教育長

揖斐川町では、平成17年の町村合

併で給食費を統一して以来、10年間給食費を値上げしておらず、副食費を削り、安全安心でかつできるだけ安い材料を取り寄せたり、デザートを減らしたりしてやりくりしてきました。

今回の値上げについては、消費税改訂分と物価上昇分を加えて、副食を合併当時のレベルに戻すために必要な額として、小学校は月額4000円から4400円、中学校は月額4700円から5100円と、それぞれ400円を値上げすることとなりました。町長が答弁したとおり、保護者負担分の材料費については、保護者の代表を交えた給食運営委員会の決定に委ねるべきと考えます。

揖斐川町給食センターは、今年度文部科学大臣賞を受賞した全国的にも優秀な給食センターであり、子ども達にもおもしろいと喜んでもらっています。今後とも、安全安心で栄養満点のおいしい給食を提供できるように努めていきたいと思っております。

宇佐美 直道議員

名古屋通勤圏を目指すには

総務省が公表した人口移動報告によれば、大半の地域が転出超過となる一方で、東京圏は約11万人の転入超過となっており、「人口の東京一極集中の現れ」と言われていますが、

実は名古屋市など他の地方主要都市でも人口の集中が見られます。岐阜県では岐阜南町、美濃加茂市、大垣市、瑞穂市等、名古屋市への交通の便が良く地価が割安な地域は転入超過となつていますが、そうでない地域は転出超過となつています。(当町は転入が462人、転出が645人で、差引183人の転出超過)

今若い人達の当町への移住定住策を考える場合、彼らの希望は、多くの企業が立地する名古屋圏で働き、そこへ通えるところに住みたいということだと思えます。そこで、名古屋通勤圏になり得るための通勤手段の改善策として、次の3点を提案します。

- ①養老鉄道のスピードアップ化と揖斐駅無料駐車場拡張
- ②J R穂積駅までのアクセスの改善(スムーズな通勤経路の確保)と駐車料金の負担軽減
- ③東海環状自動車道開通後の名古屋直行の高速バス路線開設(既に大野町では独自に検討を開始)

働く世代の転出を止めるための提案ですが、町長はいかがお考えですか。

町長

お話のように、東京圏では転入者が転出者を上回る「転入超過」が3年連続しており、東京一極集中が加速化しています。一方、岐阜県では、

平成25年が4812人、平成26年が4154人と、依然転出超過が続いています。

揖斐川町の人口動態を見ると、合併以来転出超過の傾向が続いており、約6割の方が県内の他市町村への転出(岐阜市へ13%、大垣市へ10%など)で、県外への転出先としては、愛知県が15%、東京へは3%となっています。

また、町内在住の就業者の通勤動向を見ると、町内通勤者が52%、県内通勤者は約43%で、大垣市へ10%、岐阜市へ9%、池田町へ7%などとなっています。また愛知県への通勤者は3%で、うち名古屋市へは2%となっています。

今回提案されました3点のうち、養老鉄道については、沿線市町と連携した存続支援をお願いしており、揖斐駅北側の駐車場拡張事業など利便性の向上に努めています。また、東海環状自動車道大野神戸インター開通を見据え、都市計画道路大野揖斐川線の整備を推進しています。

なお、J R穂積駅での通勤者の駐車料金の負担軽減策、あるいは高速利用に関するのですが、私としては、岐阜・名古屋圏への通勤は養老鉄道や樽見鉄道を利用した大垣市経由を考えていますので、現時点では検討するつもりはありません。